

第 149 回エイズ動向委員会

委員長コメント

《平成 28 年 年間報告（確定値）》

【概要】

1. 今回の報告期間は平成 28 年 1 月 1 日～平成 28 年 12 月 31 日までの 1 年
(速報値は平成 27 年 12 月 28 日～平成 28 年 12 月 25 日の四半期ごと速報値の合計)
2. 新規 HIV 感染者報告数は 1,011 件 で過去 8 位
3. 新規 AIDS 患者報告数は 437 件 で過去 6 位
4. HIV 感染者と AIDS 患者を合わせた新規報告数は 1,448 件 で過去 9 位

【感染経路・年齢等の動向（確定値）】

1. 新規 HIV 感染者：
 - 同性間性的接触によるものが 735 件 (全 HIV 感染者報告数の約 73%)
 - 異性間性的接触によるものが 170 件 (全 HIV 感染者報告数の約 17%)
 - 静注薬物によるものは 1 件
 - 母子感染によるものは 0 件
 - 年齢別では、特に 20～30 代が多い。
2. 新規 AIDS 患者：
 - 同性間性的接触によるものが 241 件 (全 AIDS 患者報告数の約 55%)
 - 異性間性的接触によるものが 114 件 (全 AIDS 患者報告数の約 26%)
 - 静注薬物によるものは 1 件
 - 母子感染によるものは 0 件
 - 年齢別では、特に 30 歳以上が多く、50 歳以上が約 29% を占めている。

【検査・相談件数の概況（平成 28 年 1 月～12 月）】

1. 保健所等における HIV 抗体検査件数（確定値）は 118,005 件 で過去 11 位
うち、陽性件数は 440 件
2. 保健所等における相談件数（確定値）は 119,378 件 で過去 20 位

【献血の概況（平成 28 年 1 月～12 月）】

1. 献血件数（確定値）は、4,841,601 件（前年 4,909,156 件）
2. そのうち HIV 抗体・核酸増幅検査陽性件数（確定値）は 48 件（前年 53 件）
10 万件当たりの陽性件数（確定値）は、0.991 件（前年 1.080 件）

《まとめ》

1. 平成 28 年は、新規 HIV 感染者報告数及び新規 AIDS 患者報告数ともに横這い傾向である。
2. 新規 HIV 感染者及び新規 AIDS 患者報告の感染経路として、性的接触によるものがそれぞれ 90%、81% で、中でも男性同性間性的接触によるものが多い傾向も変わっていない。HIV 感染症は予防が可能な感染症である。適切な予防策をとり、HIV 感染の可能性があればまず検査を行って頂きたい。

3. 献血10万件当たりの陽性件数は昨年に対して減少した。
4. 保健所等におけるHIV抗体検査のうち、陽性となった件数は440件である。近年の新規HIV感染者報告数の40%以上が、保健所等で診断されていると考えられる。国民の皆様には、保健所等の無料・匿名での相談や検査を積極的に利用いただきたい。
5. 新規HIV感染者・新規AIDS患者報告数に占める新規AIDS患者報告数の割合は、約30%のままで推移しており、病気が進行した時点で診断される例が多い。早期発見は個人においては早期治療、社会においては感染拡大の防止に結びつく。自治体におかれては、予防指針を踏まえ、引き続き利便性に配慮した検査相談体制を推進していただきたい。